

主題名「友達を思って」 【内容項目 友情・信頼】

教材名 「ともだちやもんな, ぼくら」

2年

教材の活用について

「ぼく」とヒデトシとマナブの、仲良しの男の子3人の話である。近所のかみなりじいさんの家の木で遊んでいるところを見つかって、逃げ出したが、ヒデトシが転んでしまう。ヒデトシを助けに行きたいが、かみなりじいさんも怖い、と葛藤するも、二人はヒデトシを助けに行く決心をする。悩みながらも、ヒデトシという友達のことを思う「ぼく」が考えたことを話し合うことで、ねらいに迫るようにしたい。

この授業で育てたい児童の心

友達は家族以外で特に関りを深く持つ存在であり、遊びや学習、生活の中で一緒に活動することを通して、互いに影響し合い高め合う存在である。よりよい関係を築いていくためには、友達と一緒に仲良く活動することのよさや楽しさ、助け合うことの大切さを実感できるようにすることが肝要である。本教材を通して、友達と仲良くし、助け合っていこうとする判断力を育てたい。

授業の流れ(学習活動)

- ① 友達がいてよかったと思う経験について話し合う。
- ② ヒデトシが転んでも走り続けた「ぼく」の気持ちを考える。
- ③ (どうしよう・・・)と悩んだ「ぼく」の気持ちを考える。
- ④ 「いこうか。ヒデトシをたすけに。」と決心した時の「ぼく」の気持ちを考える。
- ⑤ 自分の生活を振り返る。